

一般社団法人として、 日本のインプラントをリードし、 更なる発展への第一歩！

日時：平成25年5月26日(日)

場所：東京ステーションカンファレンス



田中 讓治 (千葉県)

平成25年5月26日に一般社団法人日本インプラント臨床研究会の平成25年度総会が行われました。

昨年に一般社団法人が設立され、初めての記念すべき総会となりました。

大田善秋副会長の開会の辞のあと、井汲憲治会長の挨拶、議長に坂根清文先生が選任されました。決議は定款により認定会員によりなされ、出席者と委任状合わせて129名により行われました。

最初に庶務報告として、3月31日(日)市民フォーラムおよび、7月14日、15日の第8回全員発表研修会(熱海)、2014年4月19日(土)、20日(日)におこなわれる創立40周年記念事業の準備状況等について報告がありました。

続いて、各種委員会からの報告がありました。

その後、会計委員長の辻勇人先生より決算報告、井上達先生、松下和彦先生より監査報告があり、平成24年度決算の承認を求める件は賛成多数にて可決しました。その他創立40周年記念誌の発刊等に

ついで報告があったのち、浅賀寛副会長より閉会の辞がありました。

日本インプラント臨床研究会(CISJ)は1974年にインプラント臨床の研鑽を目的に、故・乙部朱門先生の呼びかけで創立され、来年で40周年を迎えます。最も歴史あるインプラント研究会の一つとして、指導医、専門医の数を始め、全員発表研修会を始めとした積極的な活動により公益社団法人日本口腔インプラント学会指定研修施設の中でもトップの研究会と言っても過言ではないと思われます。(当会指導医12名、専門医73名、全国指定研修施設大学系38、大学臨床系21施設の平均指導医数は3.1名、専門医数は12.1名)

今回の総会は、一般社団法人として設立された日本インプラント臨床研究会が日本をリードするインプラント研修施設として、さらなる発展を遂げる第一歩になったと言えるでしょう。

